

金融資産運用設計

はじめに

金融資産運用設計では、顧客のライフプラン上の夢や目標の実現を図るために必要となる金融商品全般の基本的な知識や、利用方法などを学びます。

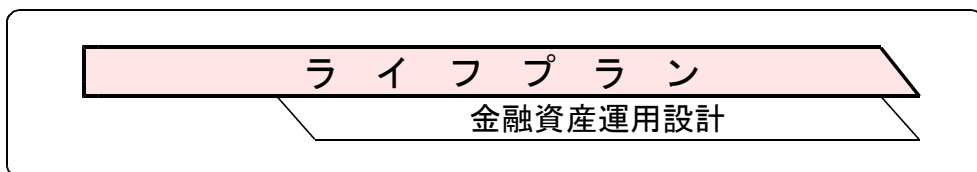
さて、人は何の為に貯めるのでしょうか？答えはとても簡単です。使う為に貯めるのです。例えば、使用目的で捉えれば、子どもの入学費用、マイホームやマイカー購入の頭金など決まった額がどうしても必要なものであれば、リスクを抑えた確実性の高い商品の利用が基本となります。また、老後生活資金準備でリタイアまで10数年もあるようであれば、リターンに重点を置き、運用資金の一定割合をある程度のリスクを負う商品に投下することも可能です。万一、予想どおりの収益が獲得できなかったとしても、時間的な余裕があるために取り返しが可能となります。当然、リスクを伴う商品の利用に当たっては顧客の性格や投資スタイルなどが重要なポイントとなります。

金融資産運用設計の目的は、ライフプラン上の目的をより効果的・効率的に実現するにはどのような商品が適切か、また、その商品のリスクはどうか？など、利用する商品の特性を把握することがスタートラインです。

顧客が必要としている金額を、必要な時期に実現するためのプランを立案しますが、利用する商品は、「お金の使用目的」「準備期間（貯蓄期間）」「目標金額」を基本において選択を行います。加えて、顧客収入、性格、家族関係、投資スタイル、資金余力なども重要な要素です。目的が同じでも、資産家と一般家庭とでは運用方法も利用商品も異なってきます。

商品毎の基礎的な知識（ハード）に加え、運用上の知識（ソフト）が必要です。貯蓄型商品（主に銀行、郵便局など）から投資型商品（主に証券会社）を基礎に、安全性・流動性・収益性の視点からの商品の選択方法、次にポートフォリオ（最小のリスクで最大の収益をあげるための分散投資による金融資産の組み合わせ）の考え方を学びます。

さらに、国内商品に限らず外債や外国株式、外国投信などについても基礎的な知識を身につけます。また、一般の相談業務において欠かせない非課税貯蓄制度やセーフティネットなどについても学習をします。



金融資産運用設計の学習ポイント

1. 経済・金融の基礎 ★★

- **景気指標** 国内総生産（支出側）（GDP）／経済成長率／景気動向指数／日銀短観／物価指数／マネーストック
- **金融市場と政策** インターバンク市場／為替変動要因／金融政策／買いオペと売りオペ／財政政策

2. 金利と利回り ★

- 複利の利息計算／年平均利回り／固定金利商品／変動金利商品

3. 貯蓄型の金融商品 ★★

- **銀行の商品** スーパー定期／貯蓄預金／大口定期預金／変動金利定期預金／期日指定定期
- **ゆうちょ銀行の商品** 定期貯金・定額貯金／預入限度額／自動貸付
- **財形貯蓄制度** 一般財形・財形年金貯蓄・財形住宅貯蓄／非課税限度額／目的外払出のペナルティ
- **積立型の商品** 株式累積投資制度（るいとう）／純金積立／ドル・コスト平均法

4. 投資型の金融商品 ★★

- **債券投資** 利付国債／信用リスクと格付け／流通市場／個人向け国債
利回り（応募者利回り・最終利回り・所有期間利回り）
価格変動リスク（債券価格と利回りの関係）
- **株式投資** 指値注文・成行注文／株式等の受渡し日／信用取引／株式ミニ投資
配当利回り・配当性向
PER（株価収益率）・PBR（株価純資産倍率）・ROE（自己資本利益率）
株価の変動要因／日経平均株価、東証株価指数（TOPIX）
- **投資信託** 投資信託委託会社、信託銀行、販売会社／公社債投資信託、株式投資信託／
単位型・追加型／パッシブ運用・アクティブ運用
トップダウンアプローチ・ボトムアップアプローチ
バリュウ型・グロース型／基準価額、運用管理費用（信託報酬）
目論見書、運用報告書、トータルリターン通知制度
インデックスファンド、アクティブファンド、ETF、J-REIT
- **外貨建て商品** TTS・TTB／外貨定期預金、外貨建てMMF／為替差損益
外国債券の種類／FX取引
- **派生商品等** 先物取引（フューチャー）／ヘッジ取引／裁定取引／スプレッド取引／オプション取引／プレミアム／スワップ取引／金投資

5. ポートフォリオ理論 ★★

- ポートフォリオ／アセット・アロケーション／期待収益率／標準偏差
- 相関係数／システムティック・リスク／効率的市場仮説／シャープ・レシオ

6. 金融商品の課税関係 ★★

- 預貯金の利子課税／源泉分離課税／満期一括課税
- 特定口座／特定公社債等の利子課税／申告分離課税
- 特定公社債等と上場株式等の損益通算
- 上場株式等の配当課税／上場株式等の譲渡益課税／上場株式等の譲渡損失の繰越控除
- 株式投資信託の収益分配金課税／公社債投資信託の税金
- NISA
- 外貨建て商品の税金／先物取引の税金
- マル優制度

7. セーフティネット ★★

- **預金保険制度** 概要／保護される商品、されない商品
- 投資者保護基金／金融商品取引法／適合性の原則
- **金融サービス提供法** 重要事項説明義務／損害賠償責任／元本欠損額
- 消費者契約法／犯罪収益移転防止法

★マークは出題頻度を☆の数でイメージしたものです。

第1編 経済・金融の基礎知識

第1章 経済・金融の基礎知識

I. ファイナンシャルプランニングと金融資産運用設計

1. 金融資産運用設計の意義
2. 景気見通しの重要性

II. 代表的な景気指標

1. GDP（国内総生産）
2. 景気動向指数
3. 日銀短観
4. 景気ウォッチャー調査
5. 4つの景気循環
6. 物価指数
7. その他の指標

III. 金融市場と金融・財政政策

1. 金融市場
2. 外国為替市場とは
3. 日本銀行の金融政策
4. アメリカの連邦準備制度
5. ユーロ圏の金融政策
6. 金融機関の分類とそれぞれの役割

第2編 貯蓄型金融商品

第1章 貯蓄型金融商品の基本用語と利息計算

1. 預貯金とは
2. 金利と利率
3. 利息の計算
4. 年平均利回り
5. 利払型商品と満期一括受取型商品
6. 固定金利商品と変動金利商品
7. 金融商品の換金性
8. 信託の基礎知識

第2章 貯蓄型金融商品の商品知識

1. 預貯金
2. ゆうちょ銀行
3. 金銭信託（合同運用指定金銭信託一般口）

第3章 積立型金融商品の商品知識

1. 積立ての心構えと仕組みづくり
2. 財形貯蓄制度
3. その他の主な積立型商品

第3編 投資型金融商品

第1章 債券投資の基礎知識

1. 債券とは何か
2. 債券の分類
3. 債券の種類
4. 債券の発行条件
5. 信用リスクと格付制度
6. 債券の流通市場
7. 売買の実際
8. 個人向け国債
9. 物価連動国債
10. 債券の利回り計算
11. イールドカーブ（Yield Curve）
12. デュレーション
13. 債券投資のその他のリスク

第2章 株式投資の基礎知識

I. 株式と株式市場

1. 株式とは
2. 株式市場とは
3. 売買の実際

II. 個別銘柄の投資指標

1. ファンダメンタル分析とテクニカル分析
2. 株価の変動要因
3. 代表的な相場指標

第3章 投資信託の基礎知識

I. 投資信託の実務知識

1. 投資信託の仕組み
2. 証券投資信託の分類
3. 投資信託の運用スタイルによる分類
4. 分配金の有無による分類
5. 買付け・換金にかかわる語句の説明

6. 投資信託のディスクロージャー
7. 投資信託の評価

II. 主な投資信託の商品知識

1. 主な株式投資信託
2. 主な公社債投資信託
3. 上場投資信託
4. 通貨選択型投資信託
5. ラップ口座

第4章 その他の投資型商品の基礎知識

I. 外貨建て商品の基礎知識

1. TTSとTTB
2. 外貨預金の基礎知識
3. カントリーリスク

4. 外国債券の基礎知識
5. 外国株式の基礎知識
6. 外国投資信託の基礎知識
7. FX取引（外国為替証拠金取引）

II. 金融派生商品（デリバティブ）の基礎知識

1. デリバティブとは
2. 先物取引の基礎
3. オプション取引の基礎
4. スワップ取引

III. 金投資の基礎知識

1. 金の国際市場と国内金価格
2. 金価格の変動要因
3. 金投資の実際（現物取引）

第4編 マネーポートフォリオ

第1章 マネーポートフォリオの基礎知識

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオ運用の必要性と効果 2. リターンとリスクの測り方
(期待収益率と分散・標準偏差) | <ol style="list-style-type: none"> 3. ポートフォリオのリターンとリスク 4. 効率的市場仮説とアノマリー 5. ポートフォリオのパフォーマンス評価 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

第5編 金融商品の税金・セーフティネット

第1章 金融商品の税金の基礎知識

I. 貯蓄型金融商品の税金

1. 復興特別所得税について
2. 預貯金等の利子と税金

II. 投資型金融商品の税金

1. 取引口座の特徴
2. 債券（公社債等）の税金
3. 株式の税金
4. 投資信託の税金
5. NISA制度（少額投資非課税制度）
6. 外貨建て金融商品の税金
7. 先物取引等の税金
8. 金の税金
9. 上場株式等と特定公社債等の課税関係のまとめ

III. 非課税貯蓄制度

1. 障害者等のマル優制度

第2章 預金保険制度と投資家保護の仕組み

I. 預金保険制度等

1. 預金保険制度の仕組み
2. 投資家保護の仕組み（投資者保護基金）

II. 関連法規

1. 金融商品取引法
2. 金融サービスの提供に関する法律
(金融サービス提供法)
3. 消費者契約法
4. 犯罪収益移転防止法
(犯罪による収益の移転防止に関する法律)
5. 金融ADR制度
6. 休眠預金活用法